



イーサネット タスク

次の項で、Chassis Manager のイーサネット タスクについて説明します。

- [ブリッジグループの表示および管理 \(p.6-2\)](#)
- [ブリッジサブネットの表示および管理 \(p.6-7\)](#)
- [ブリッジフォワーディングの表示および管理 \(p.6-9\)](#)
- [冗長グループの表示および管理 \(p.6-11\)](#)
- [トランクグループの表示および管理 \(p.6-15\)](#)

ブリッジグループの表示および管理

次の項で、ブリッジグループの表示方法と管理方法について説明します。

- [ブリッジグループの表示 \(p.6-2\)](#)
- [ブリッジグループプロパティの表示 \(p.6-2\)](#)
- [ブリッジグループの追加 \(p.6-3\)](#)
- [ブリッジグループの設定 \(p.6-5\)](#)
- [ブリッジグループの削除 \(p.6-6\)](#)

ブリッジグループの表示

サーバスイッチのブリッジグループを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Bridge Groups** ブランチを選択します。

View フレームに Bridge Groups テーブルが表示されます。[表 6-1](#) で、Bridge Groups テーブルのフィールドについて説明します。

表 6-1 Bridge Groups テーブルのフィールド説明

フィールド	説明
ID	ブリッジグループの ID 番号
Name	ブリッジグループ名
Ethernet Port	ブリッジグループがイーサネットスイッチの接続に使用できるトランクグループとポート
IB Port	ブリッジグループに関連付けられた内部ゲートウェイ (slot#/port# 形式)
IB P_KEY	ブリッジグループの InfiniBand パーティションキー
Broadcast Forwarding	ブリッジグループのブロードキャスト転送設定
Gratuitous IGMP	gratuitous IGMP が設定されている場合、true が表示されます。そうでない場合、false が表示されます。

ブリッジグループプロパティの表示

ブリッジグループのプロパティを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Bridge Groups** ブランチを選択します。

View フレームに Bridge Groups テーブルが表示されます。

ステップ 3 プロパティを表示するブリッジグループの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Properties** をクリックします。

Ethernet Chassis Manager ウィンドウが開き、ブリッジグループのプロパティを表示します。表 6-2 で、このウィンドウのフィールドについて説明します。

表 6-2 Ethernet Chassis Manager ウィンドウのフィールド説明

フィールド	説明
ID	ブリッジグループの ID 番号
Name	ブリッジグループの名前
Redundancy Group ID	ブリッジグループが所属する冗長グループの ID
Admin Failover Priority	ブリッジグループのフェールオーバーの優先順位
Oper Failover Priority	ブリッジグループのアクティブなフェールオーバーの優先順位
Ethernet Port pull-down menu	ブリッジグループがイーサネットスイッチの接続に使用するトランクまたはポートを表示します。
Vlan	グループの Virtual LAN (VLAN) ID
IB Port pull-down menu	ブリッジグループが使用する IB ポートを表示します。
IB P_KEY	ブリッジグループのパーティションキー
Broadcast Forwarding	ブロードキャスト転送が実行されている場合に、オンの状態のチェックボックスを表示します。
Broadcast Forwarding Mode	アクティブなブロードキャストフォワーディングモード
Loop Protection Method	グループのループ保護方式を表示します。
IP Multicast	IP マルチキャストが実行されている場合に、オンの状態のチェックボックスを表示します。
Ip Multicast Mode	アクティブな IP マルチキャストモード
Ip Address	ブリッジグループの IP アドレス
Gratuitous IGMP	gratuitous IGMP がイネーブルの場合に、オンの状態のチェックボックスを表示します。
Gratuitous IGMP Mode	gratuitous IGMP が設定されたモード
IGMP Version	選択されたオプションボタンは、アクティブな IGMP バージョンを表示します。
IGMP Version Mode	アクティブな IGMP バージョンモード
Directed Broadcast	ブリッジグループのダイレクトブロードキャストがイネーブルかどうかを示します。
Directed Broadcast Mode	アクティブなダイレクトブロードキャストモード

ブリッジグループの追加

新しいブリッジグループを作成する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Bridge Groups** ブランチを選択します。

View フレームに Bridge Groups テーブルが表示されます。

ステップ 3 **Add** をクリックします。

Add Ethernet Bridge Group ウィンドウが表示されます。

- ステップ 4** ID フィールドに、ブリッジグループの ID 番号を入力します。
- ステップ 5** (任意) Name フィールドに、ブリッジグループの名前を入力します。
- ステップ 6** (任意) Broadcast Forwarding フィールドの **Enable** チェックボックスをオンにして、このブリッジグループのブロードキャスト転送をイネーブルにします。
- ステップ 7** Loop Protection Method フィールドの **none** または **one** オプション ボタンをクリックして、保護方式を選択します。
- ステップ 8** (任意) IP Multicast フィールドの **Enable** チェックボックスをオンにして、IP マルチキャスト転送をイネーブルにします。
- ステップ 9** (任意) IP Address フィールドに、ブリッジグループの IP アドレスを入力します。
- ステップ 10** (任意) Gratuitous IGMP フィールドの **Enable** チェックボックスをオンにして、gratuitous IGMP をイネーブルにします。
- イーサネット ゲートウェイに接続されたイーサネット スイッチで IGMP スヌーピングがイネーブルである場合に、この機能をイネーブルにします。
- ステップ 11** (任意) IGMP Version フィールドで、**v1**、**v2**、または **v3** オプション ボタンをクリックして、IGMP バージョンを選択します。
- IGMP バージョンは、このブリッジグループによってブリッジングされるホストおよびルータで使用されるバージョンに一致するよう設定する必要があります。このバージョンは、gratuitous IGMP によるレポート生成などに使用されます。
- ステップ 12** (任意) Directed Broadcast フィールドで **Enable** チェックボックスをオンにして、ブリッジグループのダイレクトブロードキャストをイネーブルにします。
- ダイレクトブロードキャストにより、リモートのサブネット上のイーサネット ホストからのダイレクトブロードキャストトラフィックが、このブリッジグループによりブリッジングされる IB ネットワークにブロードキャストできるようになります。
- ステップ 13** Ethernet Port プルダウン メニューからポートを選択します。
- ステップ 14** Vlan フィールドに VLAN を入力します。
- ステップ 15** IB Port プルダウン メニューから IB ゲートウェイ ポートを選択します。
- ステップ 16** (任意) IB P_KEY フィールドにパーティション キーを入力します。
- ステップ 17** **Apply** をクリックします。
-

ブリッジグループの設定

ブリッジグループのプロパティを設定する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Tree フレームで **Ethernet** アイコンを展開します。
- ステップ 2** **Bridge Groups** ブランチを選択します。
- View フレームに **Bridge Groups** テーブルが表示されます。
- ステップ 3** プロパティを表示するブリッジグループの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Properties** をクリックします。
- Ethernet Chassis Manager ウィンドウが開きます。
- ステップ 4** (任意) Name フィールドに、ブリッジグループの名前を入力します。
- ステップ 5** (任意) Ethernet Port プルダウン メニューからポートを選択します。
- ステップ 6** (任意) Vlan フィールドに VLAN ID を入力します。
- ステップ 7** (任意) IB Port プルダウン メニューからゲートウェイ ポートを選択します。
- ステップ 8** (任意) IB P_KEY フィールドにパーティション キーを入力します。
- ステップ 9** (任意) Broadcast Forwarding フィールドの **Enable** チェックボックスをオン (またはオフ) にして、このブリッジグループのブロードキャスト転送をイネーブル (またはディセーブル) にします。
- ステップ 10** (任意) Loop Protection Method フィールドの **none** または **one** オプション ボタンをクリックします。
- 現在サポートされているループ保護方式は、1 つだけです。
- ステップ 11** (任意) IP Multicast フィールドの **Enable** チェックボックスをオン (またはオフ) にして、このブリッジグループのブロードキャスト転送をイネーブル (またはディセーブル) にします。
- ステップ 12** (任意) IP Address フィールドに、ブリッジグループの IP アドレスを入力します。
- ステップ 13** (任意) Gratuitous IGMP フィールドの **Enable** チェックボックスをオンにして、gratuitous IGMP をイネーブルにします。
- イーサネット ゲートウェイに接続されたイーサネット スイッチで IGMP スヌーピングがイネーブルである場合に、この機能をイネーブルにします。
- ステップ 14** (任意) IGMP Version フィールドで、**v1**、**v2**、または **v3** オプション ボタンをクリックして、IGMP バージョンを選択します。

IGMP バージョンは、このブリッジグループによってブリッジングされるホストおよびルータで使用するバージョンに一致するよう設定する必要があります。このバージョンは、gratuitous IGMP によるレポート生成などに使用されます。

■ ブリッジグループの表示および管理

ステップ 15 (任意) Directed Broadcast フィールドで **Enable** チェックボックスをオン (またはオフ) にして、ブリッジグループのダイレクトブロードキャストをイネーブル (またはディセーブル) にします。

ダイレクトブロードキャストにより、リモートサブネットイーサネットホストからのダイレクトブロードキャストトラフィックが、このブリッジグループによりブリッジングされるIBネットワークにブロードキャストできるようになります。

ステップ 16 **Apply** をクリックします。

ブリッジグループの削除

ブリッジグループを削除する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開してから、**Bridge Groups** ブランチを選択します。

View フレームに Bridge Groups テーブルが表示されます。

ステップ 2 削除するブリッジグループの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Delete** をクリックします。



(注) Delete をクリックしたあと、確認メッセージは表示されません。ブリッジグループはすぐに削除されます。

ブリッジサブネットの表示および管理

次の項、ブリッジサブネットの表示方法と管理方法について説明します。

- [ブリッジサブネットの表示 \(p.6-7\)](#)
- [ブリッジサブネットの追加 \(p.6-7\)](#)
- [ブリッジサブネットの削除 \(p.6-8\)](#)

ブリッジサブネットの表示

ブリッジサブネットを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Bridge Subnet** ブランチを選択します。

View フレームに Bridge Subnet が表示されます。[表 6-3](#) で、Bridge Subnets ディスプレイのフィールドについて説明します。

表 6-3 Bridge Subnets のフィールド説明

フィールド	説明
ID	サブネット ID 番号
Subnet Prefix	サブネットプレフィクス (A.B.C.D 形式)
Subnet Prefix Len	サブネットプレフィクスの長さ

ブリッジサブネットの追加

ブリッジサブネットを追加する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Bridge Subnet** ブランチを選択します。

ステップ 3 **Add** をクリックします。

Add Ethernet Bridge Group Subnet ウィンドウが開きます。

ステップ 4 ID フィールドに整数値を入力して、サブネットに ID 番号を割り当てます。

ステップ 5 Subnet Prefix フィールドにサブネットプレフィクスを入力します (A.B.C.D 形式)。

ステップ 6 Subnet Prefix Len フィールドに整数値を入力して、サブネットプレフィクスの長さを設定します。

ステップ 7 **Apply** をクリックします。

ブリッジサブネットの削除

ブリッジサブネットを削除する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Tree フレームで **Ethernet** を展開します。
- ステップ 2** **Bridge Subnet** ブランチを選択します。
- ステップ 3** 削除するサブネットの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Delete** をクリックします。



(注) Delete をクリックしたあと、確認メッセージは表示されません。ブリッジサブネットはすぐに削除されます。

ブリッジ フォワーディングの表示および管理

次の項で、ブリッジ フォワーディングの表示方法と管理方法について説明します。

- [ブリッジ フォワーディングの表示 \(p.6-9\)](#)
- [ブリッジ フォワーディングの追加 \(p.6-9\)](#)
- [ブリッジ フォワーディングの削除 \(p.6-10\)](#)

ブリッジ フォワーディングの表示

ブリッジ フォワーディングを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Bridge Forwarding** ブランチを選択します。

View フレームに Bridge Forwarding が表示されます。表 6-4 で、Bridge Forwarding ディスプレイのフィールドについて説明します。

表 6-4 Bridge Forwarding のフィールド説明

フィールド	説明
ID	ブリッジグループの整数値の ID
Port Type	IP の場合は eth、IPoIB の場合は ib を表示します。
Dest Address	パケットの最終的な宛先
Dest Length	宛先へのホップ数
Next Hop	パケットを転送するためのサーバスイッチからの最初のホップ（最終的に宛先に到着させます）。
Subnet Prefix	ブリッジグループのサブネットプレフィクス
Prefix Length	ブリッジグループのサブネットプレフィクスの長さ（ビット単位）

ブリッジ フォワーディングの追加

ブリッジ フォワーディング情報を追加する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Bridge Forwarding** ブランチを選択します。

ステップ 3 **Add** をクリックします。

Add Ethernet Bridge Group Forwarding ウィンドウが開きます。

ステップ 4 ID フィールドに、ブリッジグループの ID を入力します。

ステップ 5 **eth** または **ib** オプション ボタンをクリックして、IP または IPoIB を指定します。

■ ブリッジ フォワーディングの表示および管理

- ステップ 6** Destination Address フィールドに IP アドレスを入力します。
- ステップ 7** Dest Length フィールドに、宛先の長さを入力します。
- ステップ 8** Next Hop フィールドに、ネクストホップの IP アドレスを入力します。
- ステップ 9** Subnet Prefix フィールドにサブネット プレフィクスを入力します。
- ステップ 10** Prefix Length フィールドに、サブネット プレフィクスの長さ（ビット単位）を入力します。
- ステップ 11** Apply をクリックします。
-

ブリッジ フォワーディングの削除

ブリッジ サブネットを削除する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** Tree フレームで **Ethernet** を展開します。
- ステップ 2** **Bridge Forwarding** ブランチを選択します。
- ステップ 3** 削除するフォワーディング グループの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Delete** をクリックします。



(注) Delete をクリックしたあと、確認メッセージは表示されません。ブリッジ フォワーディング グループはすぐに削除されます。

冗長グループの表示および管理

次の項で、冗長グループの表示方法と管理方法について説明します。

- [冗長グループの表示 \(p.6-11\)](#)
- [冗長グループの作成 \(p.6-11\)](#)
- [冗長グループの削除 \(p.6-13\)](#)
- [冗長グループ プロパティの表示および編集 \(p.6-13\)](#)

冗長グループの表示

サーバスイッチの冗長グループを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Redundancy Group** ブランチをクリックします。

View メニューに Bridge Group が表示されます。表 6-5 で、このディスプレイのフィールドについて説明します。

表 6-5 Redundancy Group のフィールド説明

フィールド	説明
ID	冗長グループの ID 番号
Name	冗長グループの名前
Multicast PKey	冗長グループが所属するマルチキャストグループのパーティションキー
Load balancing	ロードバランシングが実行されている場合、enabled が表示されます。そうでない場合、disabled が表示されます。
Members	冗長グループのメンバー数
Gratuitous IGMP	IGMP がイネーブルにされているかどうかを示します。

冗長グループの作成

冗長グループを作成する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Redundancy Group** ブランチを選択します。

ステップ 3 **Add** をクリックします。

Add Ethernet Redundancy Group ウィンドウが開きます。

ステップ 4 ID フィールドに整数を入力します。

ステップ 5 Name フィールドに ASCII テキスト名を入力します。

ステップ 6 (任意) Load Balancing フィールドの **Enable** チェックボックスをオンにします。

ステップ 7 (任意) Broadcast Forwarding Mode の **Enable** チェックボックスをオンにして、この冗長グループのブロードキャスト転送をイネーブルにします。

ブロードキャスト転送を一時的に適用することにより、冗長グループのすべてのメンバーのブロードキャスト転送設定が上書きされます。冗長グループからブリッジグループが削除されると、元のブロードキャスト転送設定が復元されます。

ステップ 8 (任意) IP Multicast Mode の **Enable** チェックボックスをオンにして、この冗長グループにブロードキャスト転送機能を適用します。

マルチキャスト転送を一時的に適用することにより、冗長グループのすべてのメンバーのマルチキャスト転送設定が上書きされます。冗長グループからブリッジグループが削除されると、元のマルチキャスト転送設定が復元されます。

ステップ 9 (任意) Gratuitous IGMP フィールドの **Enable** チェックボックスをオンにして、この冗長グループの gratuitous IGMP をイネーブルにします。

gratuitous IGMP を冗長グループに一時的に適用することにより、冗長グループのすべてのブリッジグループメンバーの gratuitous IGMP ステータスが上書きされます。冗長グループからブリッジグループが削除されると、元の gratuitous IGMP ステータスが復元されます。

ステップ 10 (任意) IGMP Version フィールドで、**v1**、**v2**、または **v3** オプション ボタンをクリックして、IGMP バージョンを選択します。

この設定を一時的に適用することにより、冗長グループのすべてのブリッジグループメンバーの IGMP バージョン設定が上書きされます。冗長グループからブリッジグループが削除されると、元の IGMP バージョン設定が復元されます。

ステップ 11 (任意) Directed Broadcast フィールドの **Enable** チェックボックスをオンにして、ダイレクトブロードキャストモードをイネーブルにします。

ダイレクトブロードキャストにより、リモートのサブネット上のイーサネットホストからのダイレクトブロードキャストトラフィックが、この冗長グループによりブリッジングされる IB ネットワークにブロードキャストできるようになります。

ダイレクトブロードキャストを冗長グループに一時的に適用することにより、冗長グループのすべてのブリッジグループメンバーのダイレクトブロードキャスト設定が上書きされます。冗長グループからブリッジグループが削除されると、元のダイレクトブロードキャスト設定が復元されます。

ステップ 12 **Apply** をクリックします。

冗長グループの削除

冗長グループを削除する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Tree フレームで **Ethernet** を展開します。
 - ステップ 2** **Redundancy Group** ブランチを選択します。
 - ステップ 3** 削除する冗長グループの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Delete** をクリックします。



(注) Delete をクリックしたあと、確認メッセージは表示されません。冗長グループはすぐに削除されます。

冗長グループ プロパティの表示および編集

冗長グループ プロパティを表示する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Tree フレームで **Ethernet** を展開します。
 - ステップ 2** **Redundancy Group** ブランチを選択します。
 - ステップ 3** プロパティを表示する冗長グループの横にあるオプション ボタンをクリックします。
 - ステップ 4** **Properties** をクリックします。

Redundancy Group Properties ウィンドウが開きます。表 6-6 で、このウィンドウのフィールドについて説明します。

表 6-6 Redundancy Group Properties のフィールド説明

フィールド	説明
ID	冗長グループの ID 番号
Name	冗長グループの名前を表示または編集します。
Multicast PKey	冗長グループが所属するマルチキャスト グループのパーティション キーを表示または編集します。
Load Balancing	冗長グループのロード バランシングを表示するか、または Enable チェックボックスをオン (オフ) にすることにより、ステータスを変更します。
Members	冗長グループのメンバー数
Action	グループで実行するアクションのプルダウン メニューを提供します。 Fail Over を選択して、グループ内でフェールオーバーを行うようにします。
Result	Action フィールドに適用するアクションの結果

表 6-6 Redundancy Group Properties のフィールド説明 (続き)

フィールド	説明
Broadcast Forwarding Mode	冗長グループのブロードキャスト フォワーディング モードがイネーブルかどうかを表示するか、または Enable チェックボックスをオン(オフ)にすることにより、ステータスを変更します。
IP Multicast Mode	冗長グループのマルチキャスト フォワーディング モードがイネーブルかどうかを表示するか、または Enable チェックボックスをオン(オフ)にすることにより、ステータスを変更します。
Gratuitous IGMP	冗長グループの gratuitous IGMP がイネーブルかどうかを表示するか、または Enable チェックボックスをオン(オフ)にすることにより、ステータスを変更します。
IGMP Version	設定された IGMP のバージョンを表示するか、または対応するオプション ボタンをクリックすることにより設定を変更します。
Directed Broadcast	冗長グループのダイレクト ブロードキャスト モードがイネーブルかどうかを表示するか、または Enable チェックボックスをオン(オフ)にすることにより、ステータスを変更します。

ステップ 5 **Apply** をクリックして、すべての設定変更をアクティブにします。

トランク グループの表示および管理

次の項で、トランク グループの表示方法と管理方法について説明します。

- トランク グループの表示 (p.6-15)
- トランク グループの追加 (p.6-16)
- トランク グループの設定 (p.6-17)
- トランク グループの削除 (p.6-17)

トランク グループの表示

サーバスイッチのトランク グループを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Trunk Groups** ブランチを選択します。

View フレームに Trunk Groups テーブルが表示されます。表 6-7 で、Trunk Groups テーブルのフィールドについて説明します。

表 6-7 Trunk Groups テーブルのフィールド説明

フィールド	説明
ID	トランク グループの ID 番号
Name	トランク グループの名前
Port Members	トランク グループに所属するポート
Distribution Type	トランク グループの分散タイプ。このフィールドは、次のいずれかのタイプを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • srcMac は、着信パケットの送信元 MAC アドレスの負荷分散をベースにしています。異なるホストからのパケットはチャンネル内の異なるポートを使用しますが、同じホストからのパケットはトランク グループの同じポートを使用します。 • dstMac は、着信パケットの宛先ホスト MAC アドレスの負荷分散をベースにしています。同じ宛先へのパケットは同じポートを経由しますが、異なる宛先へのパケットはトランク グループの異なるポートを経由します。 • srcDstMac は、送信元論理ゲート (XOR) 宛先の MAC アドレスの負荷分散をベースにしています。 • srcIp は、送信元 IP アドレスの負荷分散をベースにしています。同じ送信元からのパケットは同じポートを経由しますが、異なる送信元からのパケットはトランク グループの異なるポートを経由します。 • dstIp は、着信パケットの宛先 IP アドレスの負荷分散をベースにしています。同じ宛先へのパケットは同じポートを経由しますが、異なる宛先へのパケットはトランク グループの異なるポートを経由します。 • srcDstIp は、送信元論理ゲート (XOR) 宛先の IP アドレスの負荷分散をベースにしています。
Trunk Group Enabled	オンの状態の Enable チェックボックスを表示して、アクティブなトランク グループを示します。

表 6-7 Trunk Groups テーブルのフィールド説明 (続き)

フィールド	説明
MTU	グループの最大伝送ユニット (maximum transmission unit; MTU)
MAC Address	トランク グループの Media Access Control (MAC; メディア アクセス制御) アドレス (00:05:ad:01:59:30 など) です。これは、トランク (リンク アグリゲーションされた) インターフェイスに関連付けられた一意の物理アドレスです。このアドレスは、各ポートの MAC アドレスとは別のものです。
IfIndex	すべての物理インターフェイスおよび論理 (トランク、ゲートウェイポート) インターフェイスの管理ソフトウェアの一意の ID を表示します。

トランク グループの追加

トランク グループを追加する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Trunk Groups** ブランチを選択します。

View フレームに Trunk Groups テーブルが表示されます。

ステップ 3 **Add** をクリックします。

Add Ethernet Trunk Group ウィンドウが開きます。

ステップ 4 ID フィールドに、トランク グループの ID 番号を入力します。

ステップ 5 Name フィールドに、トランク グループの名前を入力します。

ステップ 6 Port Members フィールドで、追加するポートのチェックボックスをオンにします。

ステップ 7 特定のカードのチェックボックスをオンにして、そのカード上のすべてのポートを自動的にオンにします。

ステップ 8 分散タイプのオプション ボタンをクリックして、Distribution Type フィールドのトランク グループに適用します。

ステップ 9 (任意) **Trunk Group Enabled** チェックボックスをオンにして、トランク グループをすぐにイネーブルにします。

ステップ 10 **Apply** をクリックします。

トランク グループの設定

既存のトランク グループを設定する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Tree フレームで **Ethernet** を展開します。
 - ステップ 2** **Trunk Groups** ブランチを選択します。

View フレームに Trunk Groups テーブルが表示されます。
 - ステップ 3** 削除するグループの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Properties** をクリックします。

Ethernet Trunk Group Properties ウィンドウが開きます。
 - ステップ 4** (任意) Name フィールドで、トランク グループ名を作成または変更します。
 - ステップ 5** (任意) Port Members フィールドのチェックボックスをオンまたはオフにして、グループに対してポートを追加または削除します。
 - ステップ 6** (任意) Distribution Type フィールドのオプション ボタンをクリックして、タイプを変更します。
 - ステップ 7** (任意) Trunk Group Enabled フィールドの **Enabled** チェックボックスをオンまたはオフにして、トランク グループをイネーブルまたはディセーブルにします。
 - ステップ 8** **Apply** をクリックします。
-

トランク グループの削除

トランク グループを削除する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Tree フレームで **Ethernet** を展開します。
 - ステップ 2** **Trunk Groups** ブランチを選択します。

View フレームに Trunk Groups テーブルが表示されます。
 - ステップ 3** 削除するグループの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Delete** をクリックします。



(注) Delete をクリックしたあと、確認メッセージは表示されません。トランク グループはすぐに削除されます。

■ トランク グループの表示および管理